



大城 重太 議員

民生部の再編 どう変わる

答 分かりやすく利用しやすくなる



問 福祉に関する民生部を再編することで行政サービスはどう変わるのか。

副町長 保健福祉課を福祉課に変更し、新たに地域福祉班を配置することで、町民から分かりやすい組織となる。また、家庭センターの設置は、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援につながる。職員配置も庁舎2階に、児童、障がい、高齢、女性、生活相談等の相談窓口を集約し、併せて個別相談スペースの確保も行う。

問 子ども家庭センターというのは、どういった目的や役割を持っているのか。

こども課長 地域の子育て世帯に対しての相談や、サポートを提供することを目的としている。センターの設置により、保護者が抱える様々な悩みや問題に対して、専門的な支援やアドバイスを受ける機会が増えるかと想定している。具体的には、育児に関する

る悩みや子どもとの接し方、発達の問題などについて、専門員の相談から直接指導を受けることができるので、子育てに対する見通しや自信を得ることが可能になると考えている。



名称変更となった福祉課

問 個別相談スペースは、どういったイメージなのか。

こども課長 2階の民生部のフロアに、子どもが遊べるキッズスペース、相談ブース、授乳室を設ける。さらには、母子保健関係の相談スペースとしての会議室や、子どもの心理面での発達を確認する相談スペースなどを確保しながら、子ども家庭センターの設置を目指している。

問 2階に福祉に関する相談窓口が集約されるということは、親子三代で相談に訪れることも想定できるかどうか。

こども課長 子育て期から高齢者まで、三世代等を含めてしっかり支援体制が構築できると考えているので、しっかりと町民の皆様にも周知しながら対応していきたい。

「こんな質問もしました」

・ 学校現場の安全安心を問う